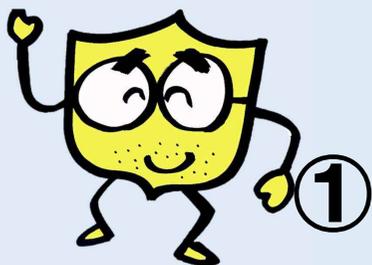


岡山県立岡山南支援学校
令和6年度 学校関係者委員会
学校自己評価アンケートのまとめ



R6年度の回答率

教職員

100%
104人中104人回答
R5 98.3% ↑



保護者

89.2%
249人中222人回答
R5 84.5% ↑



【保護者】集計結果①
【教職員】集計結果①の見方

各質問に対して4段階で
回答していただきました。
①が最も高く、④が低い
評価になります

学校自己評価アンケート（保護者用）

| 評価内容 | 評価 | | | | R6高評価 |
|-------------------------------------|------|------|-----|-----|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| 1 お子さまは、楽しく学校生活を送っていると感じる。 | 67.4 | 28.6 | 8.1 | 3.2 | 88.8 |
| 2 学校は、安全に配慮して、施設設備などを整えている。 | 68 | 28.4 | 2.3 | 1.4 | 96.4 |
| 3 学校は、避難訓練や引き渡し訓練、不審者対応訓練などを実施している。 | 65.2 | 30.8 | 2.7 | 1.4 | 96 |
| 4 教室内は、掲示物やロッカー、持ち物などが整理されている。 | 73.9 | 23.4 | 1.8 | 0.9 | 97.3 |
| 5 教職員は、お子さまの人権を大切にされた名前呼びがされている。 | 79.6 | 18.6 | 0.9 | 0.9 | 98.2 |
| 6 学校は、お子さまのプライバシーや個人情報の保護に努めている。 | 77.8 | 19 | 2.3 | 0 | 96.8 |
| 7 教職員は、保護者からの質問や相談に、適切に応じている。 | 75.6 | 20.4 | 2.3 | 1.8 | 96 |

①②を合わせた数
値を「高評価」と
しました。



【保護者】集計結果②の見方

※HP上には公開しておりません。
紙媒体で配布済みのものをご確認ください。

R6年度学校自己評価アンケート【保護者】集計結果②

| 質問番号 | ▲数 | 自由記述 | 学校回答（案） |
|---------------------|----|---|---|
| | | ●（+評価） ▲（-評価） | |
| ① お子様は楽しく学校生活を送っている | 2 | <p>この学校に通って嬉しいです</p> <p>●信頼できる良い先生ばかりで、安心して学校に通わせています。子供も毎日学校に行くのが楽しいようです。</p> <p>▲①について、毎朝学校に行きたくはない、お休みしたいとの発言がみられるから。</p> <p>▲自分の気持ちを表現できず悩みながら教壇に立ち、あまり表情にもでないため。</p> | <p>子どもたちの学校に対する気持ちは様々です。同じ活動をして、楽しく感じる子どももいれば、逆の感じ方をする子どももいます。常に楽しい気持ちで満たされる場でありたいとは思っていますが、すべての子どもたちの願いに沿った活動を行うことは容易でありません。</p> <p>▲一方で、時間がないため、活動の本質が薄れてしまっていると感じています。</p> |

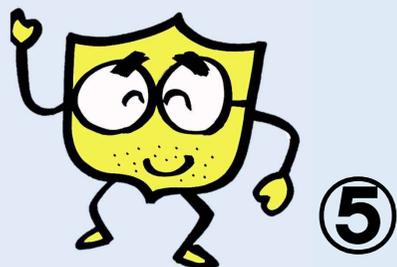
記述回答のうち、
+評価のもの●、
-評価のもの▲に
分類し、文頭にそ
のマークを付けて
います。

学校から一評価▲
についての回答を
記載しています。



集計結果報告

「ベスト」・「ワースト」



【保護者】集計結果①の高評価項目



⑤人権を大切にした
関わり 98.2%

⑰子どもへの評価の妥当性 97.7%
(評価の観点、指導経緯の明示)

⑪ICT活用 97.3%

④教室環境 97.3% ⑥



【保護者】集計結果①の低評価項目

⑳次年度への引継ぎ 92.3%

㉑人と関わる力の育成 92.4%

⑭関係機関との連携 89.6%
(福祉・医療・就労)

①学校生活の楽しさ 88.8%



【教職員】集計結果①の高評価項目

個人情報



⑥個人情報の保護 100%

⑧子どもや保護者への
誠意ある対応

⑮広報の充実

100%他3項目 ⑧



【教職員】集計結果①の低評価項目

⑬他校と関わる機会
の設定・推奨93.2%

⑩文化・芸術・自然に
触れる機会の設定90.4%

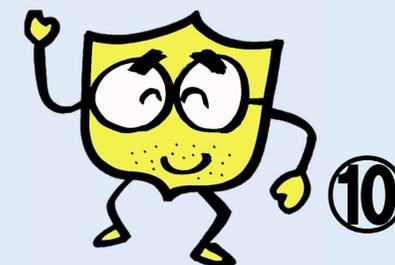
⑫次年度への引継ぎ 89.3%

⑭教職員のワークライフバ
ランスの確立 86.4%

※【教職員】のみの項目



集計結果報告 【保護者】と【教職員】 の意識の差



【保護者】 【教職員】

意識の乖離

【保護者】が高く評価
【教職員】が低く評価

保護者の「高評
価」の数値と教
職員の「高評
価」の数値の開
きに注目する。

⑩文化・芸術・自然に触れる機会の設定

【保護者】と【教職員】の差 **5.0**

⑮子どもへの評価の妥当性
(評価の観点、指導経緯の明示)

【保護者】と【教職員】の差 **3.5**

⑫次年度への引継ぎ

【保護者】と【教職員】の差 **3.0**

⑪

【保護者】 【教職員】

意識の乖離

【保護者】が高く評価
【教職員】が低く評価



⑩文化・芸術・自然に触れる機会の設定

【保護者】と【教職員】の差 **5.0**

⑮子どもへの評価の妥当性
(評価の観点、指導経緯の明示)

【保護者】と【教職員】の差 **3.5**

⑫次年度への引継ぎ

【保護者】と【教職員】の差 **3.0**

⑫



【保護者】 【教職員】
意識の乖離

【教職員】が 高く 評価
【保護者】が 低く 評価

① 学校生活の楽しさ

【保護者】と【教職員】の差 **11.2**



⑭ 関係機関との連携
(福祉・医療・就労)

【保護者】と【教職員】の差 **9.4**

⑮ 広報の充実

【保護者】と【教職員】の差 **5**

⑬



【保護者】 【教職員】 意識の一致

⑨ PTA活動での協力体制

【保護者】と【教職員】の差 **0.6**

※やや低め (94.6~95.2%) で一致

④ 環境の整備

【保護者】と【教職員】の差 **0.8**

※高め (97.3~98.1%) で一致

⑭

② 安全への配慮・施設整備

【保護者】と【教職員】の差 **1.2**

※やや低め (96.4~95.2%) で一致

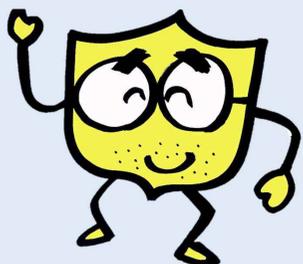
⑯ 保護者の教育的ニーズの対応

【保護者】と【教職員】の差 **1.6**

※高め (96.8~95.2%) で一致

「まとめ」と「考察」

～集計結果を踏まえて～



⑮

集計結果の中から、特に数値が大きかったり、【保護者】と【教職員】とで意識の一致があったりしたものを「注目すべき【高評価】【低評価】」として取り上げる。

高評価の項目

④ 環境の整備

⑤ 人権意識の高さ

⑪ ICTの活用

やや低評価の項目

① 学校の楽しさ

⑨ PTA活動での協力体制

⑳ 「人と関わる力」の育成

㉑ 次年度への引継ぎ

㉒ 関係機関との連携

※教職員のみ項目

教職員のワーク

ライフバランス

⑯

既に学校として対策が取られていることもあるため、R6学校経営計画に示された「学校の強み」・「学校の弱み」と完全にリンクするものではないとします。



保護者の回答と「5つの柱」とのリンク

高評価の項目

④環境の整備

⑤人権意識の高さ

⑪ICTの活用

⑯保護者の教育的
ニーズへの対応

⑰評価の妥当性

やや低評価の項目

①学校の楽しさ

⑨PTA活動での
協力体制

⑳「人と関わる力」の育成

㉑次年度への引継ぎ

㉒関係機関との連携

※教職員のみ項目

㉓教職員のワーク
ライフバランス ⑰

学校経営計画「5つの柱」との関連

ポイント1

①一貫性・継続性
のある教育活動

⑯保護者の教育的
ニーズへの対応

㉑次年度への引継ぎ

ポイント2

②教職員の授業力
・専門性の向上

⑰評価の妥当性

①学校の楽しさ

⑪ICTの活用

㉒「人と関わる力」の育成

③安心安全な
教育環境の整備

④環境の整備

⑤人権意識の高さ

④開かれた学校・
特別支援教育の
センター的機能

㉒関係機関との連携

⑨PTA活動での
協力体制

ポイントE

⑤いきいきとした
職場づくり

⑱

㉓教職員のワーク
ライフバランス

ポイント

今後注力していくべき3点と、その具体的な対応策（案）

- ①【一貫性・継続性のある教育活動の推進】の対策として
 - ・次年度への引継ぎ業務の推進を行う（引継ぎ機会の設定、引継ぎ方法の伝達、前担当者との連携の推奨 等）。
 - ・全員が関わるカリキュラムマネジメント（教育課程の反省、カリキュラムマネジメント委員会、部会 等の活用）を目指す。
- ②【教職員の授業力・専門性の向上】の対策として
 - ・引き続き、全員で取り組む研究体制を維持し、全校で授業力のさらなる向上を目指す。
 - ・研修係を中心に事前調査、アンケートを行い、教師のニーズに合った研修を適切に設定していく。
- ③【いきいきとした職場づくり】の対策として
 - ・教育課程の反省、学校自己評価アンケートの結果を業務改善に活かしたり、ICTの活用を進めたりすることで、教職員の心身の健康も同様に大切に考えた、支えあうことのできる職場環境の実現を目指す。

⑲